ちひろ美術館・東京 プレスリリース

2010年7月14日(水)～9月12日(日)

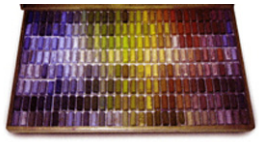
ちひろ・51歳の挑戦

1970年、51歳のちひろは、パステルという新しい画材に挑戦します。パステルでの制作は1970年に集中していますが、そこで得たストロークを生かした描法は、その後の筆勢を生かした水彩画を生み出しました。
本展では、画家として、女性として人生の転換期を迎えた51歳のちひろの姿を浮き彫りにします。

1.ピンクのワンピースを着た少女 1970年

パステル

色面やぼかしによる表現を得意とするパステルを、ちひろはあえて線描に用いています。自分は器用すぎることが問題だと語っていたちひろにとって、パステルの太い線は、細部へのこだわりを捨てるうえで格好の画材でした。



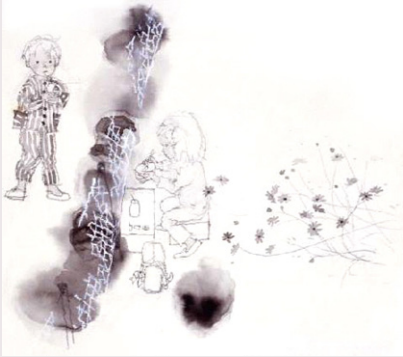
ちひろ愛用のパステル

新たな画風をめざして
――パステルへの挑戦　2つの『となりにきたこ』

ちひろは絵本『となりにきたこ』を一度、鉛筆と薄墨で仕上げていますが、器用にまとめてしまう従来通りの仕事に満足できず、パステルによる大胆なタッチで描き直しています。『となりにきたこ』などのパステル作品と、その後の水彩画も展示し、パステルへの挑戦がちひろの画風にもたらした変化を探ります。

パステルで線を描いて、それに水をつけると、水彩絵具より透明なきれいな色がながれでます。そんなおもしろいことをして作ったのが、この「となりにきたこ」です。（中略）君子になんて関係ない私は、豹変しながらいろいろとあくせくします。よい方に豹変したならいいけれど、新しいことというのはいつも不安です。

1970年　いわさきちひろ



2. そとで ごはん たべてもいいでしょ『となりにきたこ』(至光社)より　1970年

3.海とふたりの子ども 1973年

51歳のちひろ

1970年、ちひろは、バラエティーに富んだ６冊の絵本や単行本を出版するなど、精力的に仕事をこなしています。一方で、国会議員の妻として、受験生の母として、親の介護を抱えた娘として、多忙な日々を過ごしていました。51歳のちひろからは、人生の転換期を迎えて、前向きに生きるひとりの女性の姿がみえてきます。

1970年　アトリエにて

ちひろ美術館・東京 プレスリリース　2010年7月14日(水)〜9月12日(日)

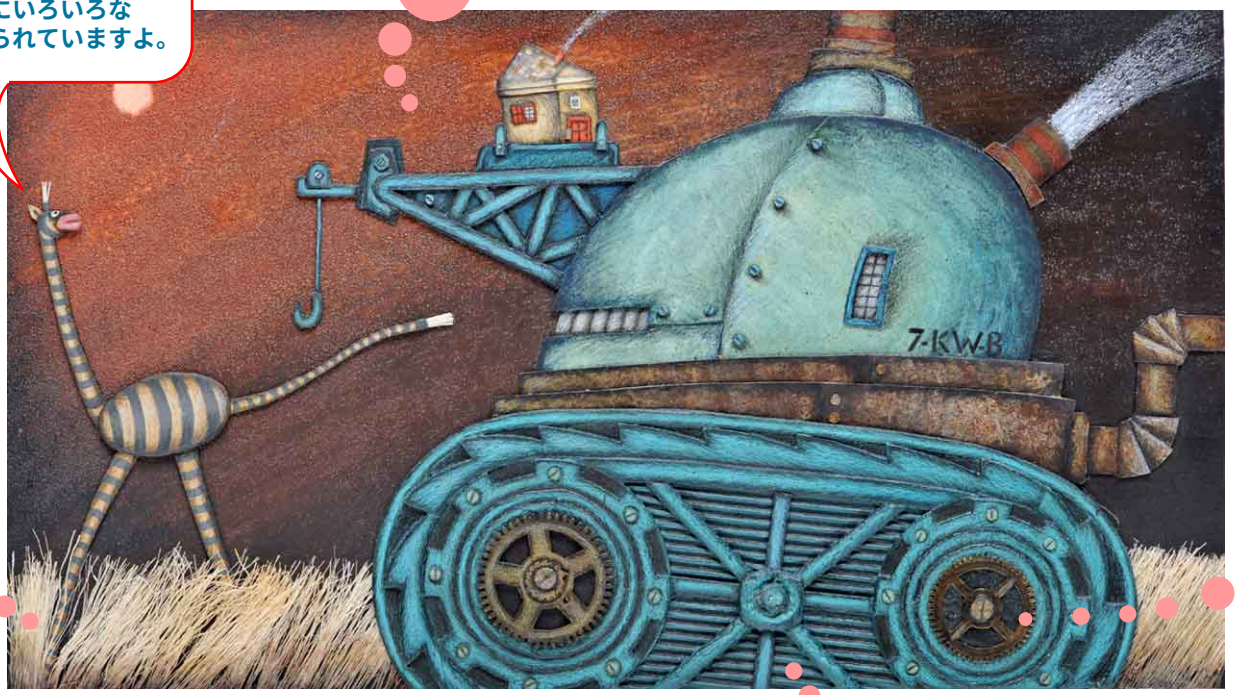
ちひろ美術館コレクション展
素材であそぶ

どうやって描かれているのかな？

4.クヴィエタ・パツォウスカー（チェコ）
『ふしぎなかず』より　1990年

よ〜くみてください。
絵のなかにいろいろなものが貼られていますよ。

砂粒



草

歯車

ダンボール

5.クラウディア・レニャッツィ（アルゼンチン）
『わたしの家』より　2001年

彩色した薄紙をカッターナイフで切り取り、コラージュ（貼り付け）しています。

6.エリック・カール（アメリカ）「くじゃく」1991年

油絵の具が乾く前に、引っかいて模様をつけています。

7.キアラ・ラパッチーニ（イタリア）
「会話」　1998年

本展では、ちひろ美術館コレクションのなかから、さまざまなものを貼ったり、変わった描き方をしている絵を集めています。

主な出品作家
ユゼフ・ヴィルコン（ポーランド）
タチヤーナ・マーヴリナ（ロシア）
クヴィエタ・パツォウスカー（チェコ）
長新太（日本）
チャールズ・キーピング（イギリス）
約25名の画家の作品約60点を展示します。

8.エンリケ・マルチネス（キューバ）「動物シリーズ No/28」　1990年

ダンボールを切った断面で、絵の具を擦りつけるようにして、描いています。

ちひろ美術館コレクションとは…？

ちひろ美術館は、世界最初の絵本専門美術館として1977年に開館以来、すぐれた子どもの本のイラストレーションを貴重な文化財のひとつとして位置づけ、原画と資料の収集・保存・公開に努めています。現在、いわさきちひろの作品約9400点の他に、世界32カ国197人の画家約17100点の作品（2010年5月現在）を収蔵しています。

会期中のイベントのご案内

＊イベントの詳細は随時ちひろ美術館HP (http://www.chihiro.jp/) でご案内します。
お申し込み・お問い合せは　ちひろ美術館・東京イベント係まで。

―「ちひろ･51歳の挑戦」展 関連イベント―

●対談「上野千鶴子×松本由理子」

7/16(金)　18:45～20:00

ちひろの人生の転換期"51歳"に焦点を当てた展示に合わせ、50歳を過ぎてからの人生の豊かさを語りあいます。

定員：100名　要参加費

＊要申込み　6/16(水)申込み受付開始

●51歳特典 非売品はがきプレゼント！

会期中ご来館の51歳のお客様（1959年生まれの方）に、非売品の特製はがきをプレゼントいたします。

●「わたしの○歳の挑戦」メッセージ、大募集。

「ちひろ・51歳の挑戦」展にちなみ、皆さまが今までに挑戦したことをつづったメッセージを大募集します。ご応募は、会期中、図書室に設置するメッセージポストへ。ご応募いただいた方のなかから抽選で３名の方にちひろの絵本をプレゼント。

夏休み こどもワークショップ

●再生紙でつくる器

講師：森友見子（造形作家）

8/7(土) 14:00～17:00

身近な紙をミキサーでどろどろにして、いろいろな色の紙粘土をつくります。プリンやゼリーなどの型に張り込んで、紙の器をつくってみましょう。同じモノを２つ合わせると、ギフトボックスにもなります。親子で楽しくつくりましょう。

定員：30名
対象：5歳～小学6年生とその保護者
参加費：500円
（※子どもは入館無料）
＊要申込み
7/7(水)申込み受付開始

●ピカッと金属チョーコク

講師：森哲弥（彫刻家）

8/21(土) 14:00～17:00

ボール紙を切り抜いて型をつくり、200℃で溶ける低融点金属を流し込んで手のひらサイズの彫刻をつくります。板状の金属2枚を合わせてできた作品をサンドペーパーで磨いて金属の光沢を出して仕上げます。

定員：20名
対象：小学4年生以上中学生以下
参加費：500円（※子どもは入館無料）
＊要申込み　7/21(水)申込み受付開始

●ちひろの水彩技法体験！

8/28(土)　子どもの部　10:30～12:00／大人の部　14:00～16:00

ちひろの水彩画は、どのように描かれているのでしょう？ヒントは「水」にあります。ちひろがどのように絵を描いていたか、そのひみつを、水彩絵の具をつかって試してみましょう。そしてあなたも、ちひろのテクニックを使って、水彩画を描いてみよう。

定員：午前･午後各30名
対象：午前の部＝小学生／午後の部＝中学生以上
講師：ちひろ美術館学芸員
参加費：500円（※大人は別途入館料800円）
＊要申込み　7/28(水)申込み受付開始

●ギャラリートーク

毎月第1･3土曜日　14:00～
展示室にて

当館学芸員が、作品の解説や展示のみどころをお話しします。
＊参加自由

●えほんのじかん

毎月第2･4土曜日 11:00～
こどものへや　協力：NCBN
展示や季節にあわせて絵本の読み聞かせなどを行います。
＊参加自由

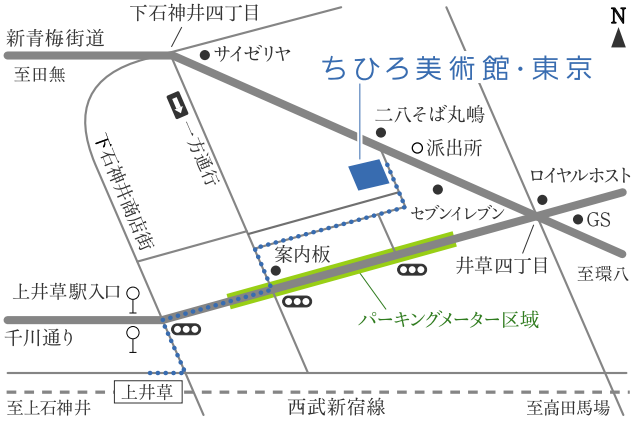
●わらべうたあそび

8/21(土) 11:00～11:40　講師：服部雅子

声を出して歌ったり、体を動かしたりしながら、親子で楽しく参加できます。0～2歳までの乳幼児と保護者対象。
参加費：無料(入館料のみ)
定員：15組30名　＊要申込み　7/21(水)申込み受付開始

インフォメーション

- 展示会期…2010年7月14日(水)～9月12日(日)
- 開館時間…10時～17時（8月10日(火)～20日(金)は18時まで開館）
- 休館日……月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）
- 入館料……大人800円／高校生以下無料
  団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引／障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は１名まで無料／視覚障害のある方は無料
- 交通……○西武新宿線上井草駅下車徒歩７分
  ○ＪＲ中央線荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩５分
  ○西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩５分
  ○駐車場あり（乗用車３台・身障者用１台）



ちひろ美術館・東京　http://www.chihiro.jp/　お問い合せは、広報担当：原島・川口・上島まで

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2　TEL.03-3995-0772　テレホンガイド 03-3995-0820　FAX 03-3995-0680